

70歳雇用時代へ 高年齢労働者の安全と健康確保を支援 健康管理の進め方、転倒しない職場づくりなど シニアの災害防止をテーマに初の研修セミナー

中央労働災害防止協会（中災防：会長 中西 宏明（日本経済団体連合会会長））は、定年延長や雇用継続などにより「生涯現役社会」の実現が求められる中、高年齢労働者の労働災害が増加していることを踏まえ、「高年齢労働者の安全と健康確保」をテーマにした研修会を初めて開催します。

企業の人事労務・安全衛生担当者、産業保健スタッフなどを対象に、初年度の今年は9月10日と2020年1月30日の2回の開催を予定しており、その後も、ニーズを踏まえて、積極的に開催します。

現在、60歳以上の就業者数（別紙：図1）は増加を続けており、それに伴い、高年齢者の労働災害も増加。50歳以上の労働災害が全体の半分を占めているのが実情です（同：図2）。しかしそうした中で、高年齢労働者の労働災害防止対策に取り組んでいる事業所は約半数にとどまるなど、十分とはいえません（同：図3）。

そこで中災防では、今後ますます増加が見込まれる高年齢労働者が安全で健康に働ける職場づくりをテーマに、初の研修セミナーを実施することとしました。

研修セミナーでは、がん対策などの健康課題に焦点を当てた健康管理の進め方、転倒予防のための改善事例を豊富に交えた取り組み紹介などを行います。また、中災防が開発した高年齢労働者の安全と健康確保のための職場改善ツール「エイジアクション100」（注）に関する講義と演習、100のチェックリストの活用方法についての異業種交流なども予定しています。

研修セミナーの詳細は別添のとおり。

（注）中災防HPに特設サイト設置（<http://www.jisha.or.jp/research/ageaction100/index.html>）

中央労働災害防止協会

【担当】教育推進部長 早木 武夫
教育推進部 審議役 下村 直樹

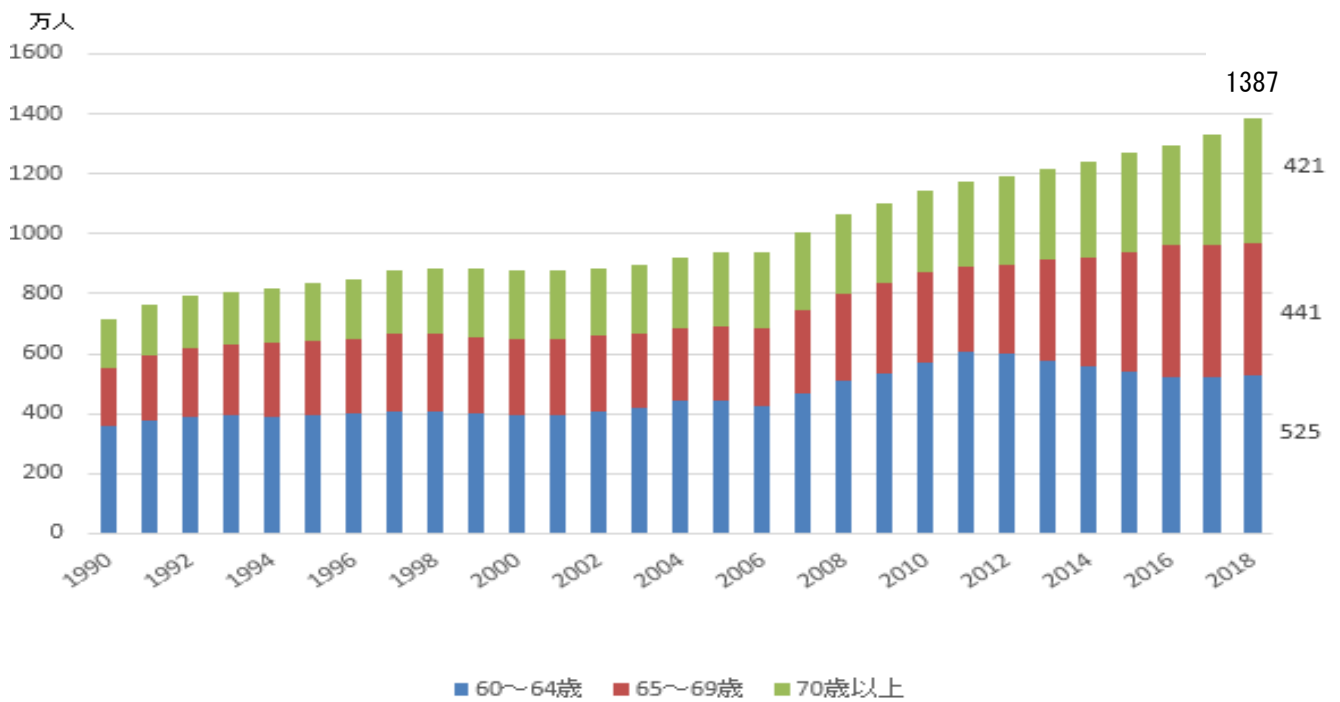
（電話）03-3452-6389

【照会先】総務部 広報課長 高橋 まゆみ

（電話）03-3452-6542 （メール）koho@jisha.or.jp

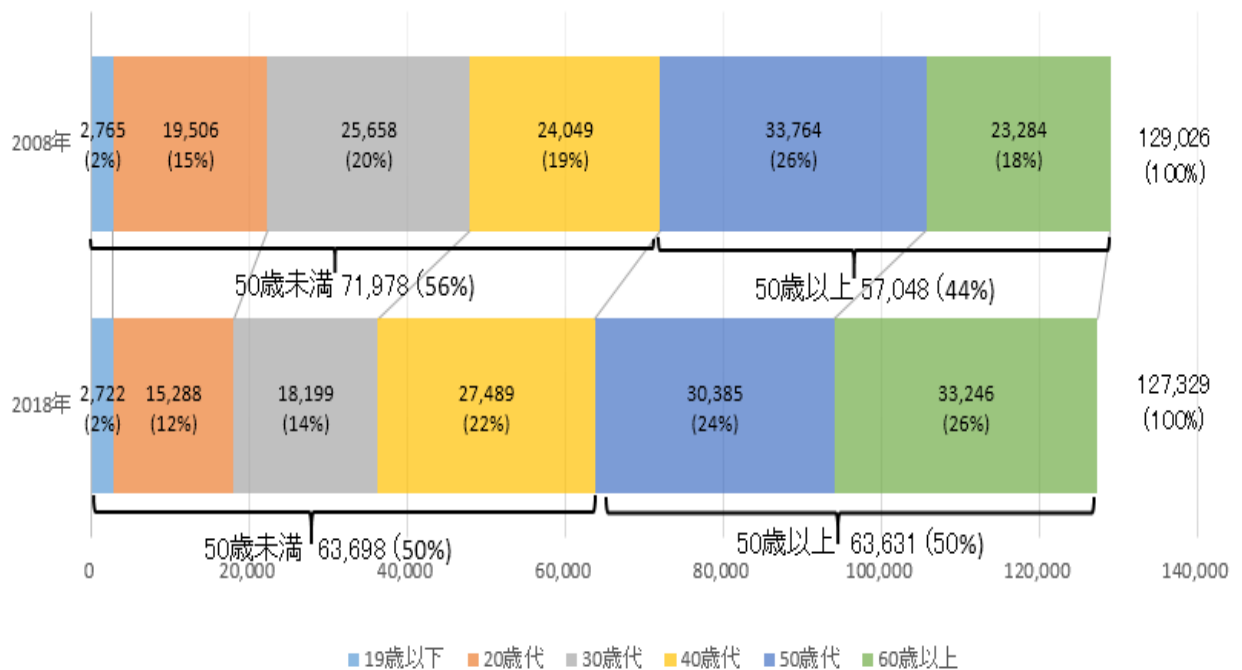
※この資料は、厚生労働記者会、厚生労働省労政記者クラブ、厚生日比谷クラブに配布しています。

(図1) 60歳以上の就業者数



(資料出所) 総務省「労働力調査」

(図2) 高年齢労働者の労働災害の発生状況



(資料出所) 「労働者死傷病報告」(厚生労働省)

(図3) 企業における高年齢労働者（50歳以上）の労働災害防止対策の取組状況

取り組み内容(複数回答)		取り組み内容(複数回答)						
		健康診断実施後に基礎疾患に関する相談・指導を行っている	作業前に、体調の不良等異常がないか確認している	医師による面接指導等の健康管理を重点的に行っている	高年齢労働者の身体機能の低下の防止のための活動を実施している	ウォーキングなど	定期的な体力測定を実施し、その結果から、本人自身の転倒、墜落・転落等の労働災害リスクを判定し、加齢に伴う身体的変化を本人に認識させている	深夜業の回数の減少又は昼間勤務への変更を行っている
55.7	(100.0)	(38.0)	(12.8)	(5.2)	(6.3)	(5.5)	(41.6)	(25.1)

(%)

不明		取組んでいない				
その他	他の労働者に危険を及ぼさないように配慮している（例えば、クレーンやフォークリフトの運転等をさせない等）	できるだけ単独作業にならないようにしている（体調異変があつたときに直ぐに対応できるための措置）	できるだけ高所等の危険場所での作業に従事させないようにしている（本人の危険を回避するため、作業内容・就業場所を変更する対応）	墜落・転落、転倒等の災害防止のため、手すり、滑り止め、照明、標識等の設置、段差の解消等を実施している（本人の危険を回避するため、施設・設備等の労働環境などを変更する。）	健康診断実施後に健康診断の結果を踏まえて就業上の措置を行っている	
(8.2)	(12.0)	(21.2)	(21.6)	(11.2)	(31.9)	40.4
3.9						

(資料出所) 労働安全衛生調査 (実態調査) (2016 年、厚生労働省)

70歳までの雇用を応援します！

高年齢労働者の安全と健康確保のためのセミナー

企業の人事労務・安全衛生担当者、産業保健スタッフ向け

人生100年時代に対応した職場改善ツール

「エイジアクション100」※ のノウハウを解説！



チェックリストを活用した「生涯現役で働ける職場づくり」

転倒しない
安全な職場づくり

豊富な改善事例の紹介

チェックリストの
活用方法

演習での実践活用方法

異業種交流

70歳でも元気な
健康管理の進め方

シニア社員特有の健康課題

がん対策 など

日程

第1回 2019年9月10日（火）9時～17時

第2回 2020年1月30日（木）9時～17時

講師

亀田 高志 （株）健康企業 代表・医師

専門産業医と健康管理の事業化の経験を元に、企業等での講演や研修、書籍の出版を行っている。

羽深 勝也 （株）東芝 人事・総務部 総務企画室 安全保健担当 参事

中防災・東京安全衛生教育センター講師。企業の安全保健担当30年。

場所

中央労働災害防止協会
安全衛生総合会館

受講料

第1回 中災防会員・賛助会員19,440円 一般21,600円(消費税8%)
第2回 中災防会員・賛助会員19,800円 一般22,000円(消費税10%)

中小規模事業場 料金割引サービスご利用の場合

参加者が、常時使用する労働者数300人未満の労災保険適用事業場に所属する場合があります。

第1回 中災防会員・賛助会員11,664円 一般12,960円(消費税8%)
第2回 中災防会員・賛助会員11,880円 一般13,200円(消費税10%)

※ 厚生労働省において、高年齢労働者の労働災害防止対策の実施に当たっての活用を、現在、推奨中！

お申込み・お問い合わせ

中央労働災害防止協会 教育推進部業務課
〒108-00014 東京都港区芝5-35-2 安全衛生総合会館6階
E-mail kyoiku@jisha.or.jp https://www.jisha.or.jp/

TEL

03-3452-6257

FAX

03-3453-3449

安全衛生管理研修会(1日コース)